

東京家政学院中高は、「第13回 ESD 大賞」（主催：NPO 法人日本持続発展教育推進フォーラム、後援：文部科学省、日本ユネスコ国内委員会、(株)教育新聞社など）において、最優秀賞である「**文部科学大臣賞**」を受賞しました。

ESD とは

ESD は Education for Sustainable Development の略で「持続可能な開発のための教育」と訳されています。ESD とは、気候危機や資源の枯渇、貧困の拡大等の現代社会の問題を自らの問題として主体的に捉え、人類が将来の世代にわたり豊かな生活を確保できるよう、身近なところから取り組む（think globally, act locally）実践です。また、問題の解決につながる新たな価値観や行動等の変容をもたらし、持続可能な社会を実現していくことを目指して行うことも重視しています。ESD は近年話題となっている SDGs の 17 のゴールを達成するための教育と表現することもできます。

ESD 大賞について

ESD 大賞は、各学校において、正しい ESD（持続可能な開発のための教育）の理念に基づいた教育が積極的に実践され、持続可能な社会の創り手を育むことを目的に小・中・高校を対象に ESD の実践研究事例を募り、最も優れた学校の実践に対して授与されるものです。

審査は、ESD の目標である「持続可能な社会づくりにかかわる課題を見出し、それらを解決するために必要な能力や態度を身に付けることを通して、持続可能な社会の形成者としてふさわしい資質や価値観を養うこと」をもとに、加えて、「ESD の目標を実現するための教育活動を組織的・計画的に実践し、その成果を読み取ることができる。」「ESD についての指導内容・方法等に工夫改善され、新しい提言が行われている。」などの観点が重視されています。

ESD 大賞「文部科学大臣賞」受賞にあたって

受賞にあたって、本校の取り組みは、「中高一貫校の特色を生かしながら、中学校 1・2 年生の縦割り班による地域で働く人々への取材を通して持続可能な地域社会の在り方を考察し、中学 3 年生による企業への取材活動で得た社会課題を SDGs の視点を通して解決しようとした、系統性のある広く社会全体を見渡したテーマ設定、多様な表現による活動にインパクトがありなおかつ生徒に深い学びを与えている。」との評価を頂きました。

ESD 大賞 公式サイト（NPO 法人日本持続発展教育推進フォーラム）はこちら

→ <http://www.jp-esd.org/grandprix.html>